



令和六年 新春のごあいさつ

深浦町長
吉田 満

令和6年の輝かしい新春を迎え、町民の皆様には、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

町民の皆様には、平素から町政運営の各般にわたり、深い御理解と御協力、並びに御支援を賜り、誠にありがとうございます。

2024年の年頭に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

当町は、昨年、一昨年と2年連続で豪雨災害に見舞われました。一昨年の8月は津軽地方で発生した県内初の線状降水帯による大雨災害であり、また、昨年7月は梅雨前線が停滞し白神山地に大量の雨が降ったことで、白神山地を源流とする河川の増水が大きな被害をもたらしたものです。

幸いなことに、いずれの災害も人的被害はなく安堵しているところがございますが、近年の異常気象に対する不安は年々増しており、改めて自然の猛威を痛感したところでもあります。災害の復旧にあたっては、町内外の多くの方々から温かい御支援を賜り心から感謝を申し上げます。

この異常気象は大雨だけでなく夏の気温にもあらわれており、昨年は記録的な猛暑でもありました。この猛暑は、水稲のほか多くの農作物の生育にも影響しました。また、昨年は全国的に人里でのクマの出没が多く、当町でも9月以降クマの目撃情報が急増し、これまでで最も多い年となりました。これもまた、異常気象によってクマの食料となるブナやドングリの実が、極

端な豊作と凶作を繰り返したことで、豊作の年に繁殖して増えたクマが、翌年の凶作で餌を探して人里へ下りてきていると考えられています。

大雨によって被災した道路や河川、農地・農業用施設の復旧にはまだまだ時間を要しますが、町では、この復旧事業を最優先に進めることとしており、併せて、今後も起こり得る災害への対応のほか、クマ、サル、イノシシなどの鳥獣被害の対応についても関係機関との連携を強化しつつ、万全の態勢で臨んでまいります。

さて、我が国の経済は、新型コロナウイルスの5類移行後、個人消費や設備投資が増加傾向で推移し、緩やかな回復が続いていると言われてはいますが、依然として物価の上昇圧力が強く、消費者の購買意欲の冷え込みが懸念されるほか、幅広い業種での人手不足が深刻化しつつあり、日本経済を取り巻く環境には不安材料が多い状況にあります。

政府は、足元の物価高や世界経済の減速等による日本経済の下振れリスクに万全の対応を図りながら、持続的な成長と分配の好循環の実現に向けて、国内投資の拡大や研究開発の促進による生産性の向上を図るとともに、地方財政の歳出構造についてもコロナ禍前の平時に戻すとしておりますので、当町といたしましても、国の経済対策の動向等を見極めながら引き続き財政基盤の安定と持続性を確保しつつ必要な施策を実施してまいります。

当町の財政状況につきましては、令

和4年度一般会計決算において、8月豪雨の災害関連経費などにより、令和3年度決算と比較して約2億円の増となりましたが、実質収支は15年連続の黒字決算となったところであります。歳入では地方交付税等の依存財源が全体の82%を占めるなか、歳出では社会保障関連経費や公共施設等の整備・維持管理経費の増加が見込まれ、さらに、令和4年及び令和5年の豪雨災害による復旧対応が引き続き必要な状況にあります。今後も厳しい財政状況が続くものと予想されることから、事業の必要性・緊急性・優先度などを見極め、限られた財源の中で重点的かつ効果的な予算配分を図りながら財政運営健全化の取組を強化してまいります。

ここ数年、長期にわたったコロナ禍によりあらゆることが制限され、我慢の日々を余儀なくされてきましたが、昨年は、白神山地の世界自然遺産登録30周年を祝う海上花火大会をはじめ、様々なイベントを開催しました。

当町を訪れる観光客も徐々に増えており、インバウンドのお客様も見られるようになるなど深浦町の観光にもようやく活気が戻ってまいりました。今年も、白神山地をはじめ、当町が持つ観光資源の更なる魅力を発信し、より一層の誘客促進を図ってまいります。

教育関係では、令和4年4月に深浦中学校と岩崎中学校が統合し、深浦小学校の卒業生といわさき小学校の卒業

生が、共に深浦中学校で勉学に励むようになっていますが、お互いに刺激を受け合い切磋琢磨し合う相乗効果が生まれているようであります。今年度は、深浦町立中学校の統合に関する基本方針に基づき、大戸瀬中学校の統合に関して保護者アンケートを実施し、皆様からのご意見を伺いたいと考えております。

また、昨年4月に閉校となった旧木造高等学校深浦校舎について、町では、公民館や文学館、歴史民俗資料館等を集約した社会教育関連施設として活用することを検討しており、子どもから高齢者まで様々な世代の方々が集える「ふれあいの場」、「にぎわいの空間」として整備を進めてまいります。

最後に、2年続いた大雨災害により、いまだ町内には被害の爪痕があらこちらに残っております。完全な復旧にはまだまだ時間がかかりますが、国や県、関係機関の協力を得ながら、復旧・復興に向け全力で取り組んでまいります。

結びに当たり、本年が皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますことをお祈り申し上げます。